



有佐小だより

令和3年12月24日

第8号

文責 岩見 浩史

ICT教育の充実に向けて

11月25日(木)にICT教育推進モデル校研究発表会を開催しました。熊本県八代教育事務所、八代市教育委員会を始め、県内各地から87名の参加がありました。当日は1年生の音楽と5年生の理科の公開授業及び授業研究会を行い、全体会で昨年度から取り組んできた研究の成果や課題を報告しました。まとめでは、教育委員会の瀧川指導主事や東京学芸大学准教授で八代市ICT教育推進アドバイザーの小宮山利恵子様から、本校の取組や子どもたちの学習の様子を高く評価していただきました。当日、運営を支えていただいた見守り隊や保護者の皆様、大変ありがとうございました。



その後も、12月22日(水)には、4年生が学校代表としてオンライン音楽会に参加しました。有佐小学校がホストを務め、八千把小学校と千丁小学校をウェブ会議アプリでつないで、音楽の時間に練習してきた曲を演奏したり、聴いた感想を発表したりしました。有佐小学校は、感染リスクレベルが高くてもリコーダーや歌の練習ができないときに、タブレットパソコンを活用してプログラミングソフトで作ったオリジナルのリズム奏や、リコーダー奏「陽

気な船長」、歌「ゆかいに歩けば」を披露しました。感染症対策のために、なかなか他校と交流してお互いに刺激を受け合うことができないのですが、ICTを活用することで補っていくことができると感じました。

これからも、さらにICT教育を充実させていきたいと考えていますが、あまりに長時間タブレットパソコンを使用すると、目や脳に負担をかけてしまう心配もあります。先日ご家庭に配付した八代学校保健会紙「すこやか」や、児童生徒のための「くまもと携帯電話・スマートフォンの利用5か条」を参考に、家族で話し合っただけでそれぞれの家庭のルールを決めるとよいと思います。冬休みの宿題に「あったか家族コンクール作品募集」を出していますので、ぜひ冬休み中に「わが家の1か条づくり」に取り組んでいただきたいと思います。

地域・家庭の協力に感謝

今年4月に赴任して、体育倉庫横の草置き場が山盛りになっているのが気になっていました。新型コロナの影響で2年ほど手を入れることができなかったそうです。学校運営協議会で、研究発表会前に何とかできないか相談したところ、協議会会長の柴田様や区長の沼田様を中心に、早速検討していただきました。事前の作業として柴田様、吉村様に剪定木を選り分けて短くしていただき、11月7日(日)に駅前わっかな会の柴田様、沼田様、吉村様、田中様、下川様に作業していただいたおかげで、大変すっきりと美しくなりました。



その他にも、町探検等の校外学習の際は、見守り隊の方々に子どもたちの安全確保のご協力をいただいております。感染リスクレベルが下がりましたので、12月には「学習サポーター」もスタートすることができました。有佐小学校は、学校・保護者・地域のチームワークがとても素晴らしいところだと、毎日感謝しています。

子育てに悩んでいませんか？

子育てには悩みは付き物です。私も自分の子育てをふり返って、「あの時、こうすれば良かったのに…」と後悔することもあります。もしも、子育てに不安を感じたり迷ったりするときには、一人で思い悩まずに相談しましょう。相談の窓口は、たくさんあります。ご友人や先輩ママ、もちろん学校は、いつでも相談の窓口を開いています。担任だけでなく、養護教諭や教頭・校長へ相談していただいても構いません。また、八代市教育サポートセンター内の「やつしろ子ども支援相談室」等の機関もあります。子ども支援相談室便り「おひさま」を、発行されるたびに印刷してご家庭に届けています。とても子育てのヒントになる内容が書かれていますので、ぜひお読みください。許可を得て有佐小のホームページからもバックナンバーを読むことができるようにしたので、ぜひご活用ください。

